

令和 7 年稲沢市教育委員会 第 9 回定例会会議録

1 日 時 令和 7 年 9 月 2 6 日（金）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

2 場 所 勤労福祉会館 第 2 ・ 第 3 会議室

3 出席委員 教 育 長 渡 辺 孝 雄
教育長職務代理者 伊 藤 浩 樹
委 員 吉 川 繁 樹
委 員 澤 田 可 奈 子
委 員 大 島 宏 之
委 員 森 誠 子

4 説明のため出席した職員

教 育 部 長	大 口 伸		
教育部次長兼庶務課長	江 頭 弘 幸	庶 務 課 主 幹	犬 飼 貴 志
庶 務 課 主 幹	鈴 木 達 哉		
学校教育課長兼指導主事	伊 藤 尚	学校教育課統括主幹兼指導主事	伊 藤 実
学校教育課主幹兼指導主事	伊 藤 充 弥		
生涯学習課長	別 府 正 弘	生涯学習課主幹	松 尾 俊 明
生涯学習課主幹	田 村 正 樹		
ス ポ ー ツ 課 長	佐 波 正 巳	ス ポ ー ツ 課 主 幹	鈴 木 元 行
図 書 館 長	塚 本 ゆ かり	図 書 館 主 幹	花 田 陽 子
美 術 館 長	長 谷 川 隆		
書記 庶務課	大 崎 敬 介	北 村 公 美	

5 教育長報告

6 前回会議録の承認

令和 7 年第 8 回定例会会議録 承認

7 教育委員会報告

8 議事

- ・令和8年度教育予算に関する要望について

9 報告

- ・稲沢市教育委員会後援名義使用承認について
- ・稲沢市少年愛護センター指導員の解嘱及び委嘱について

10 その他

- ・令和8年稲沢市二十歳（はたち）のつどいについて
- ・市民会館のクラウドファンディング実施について
- ・祖父江生涯学習センターの自習室の開設について
- ・令和7年度特別展 荻須高德リトグラフ展－稲沢市荻須記念美術館コレクションについて
- ・第62回稲沢市民展について
- ・美術館のクラウドファンディング実施について

11 次回開催予定日時

－ 開 会 －

◎教育長

定刻になりましたので、令和7年第9回教育委員会定例会を開会します。

◎教育長

教育長報告ということで、私から少しお話をさせていただきます。

2学期が始まり、ひと月ほどたちました。日中はまだ厳しい残暑が続いているところですが、ようやく朝晩の風に秋の訪れを感じるようになってきました。多くの小学校では、運動会の練習や準備が行われ、中学校においても、テストを終えて体育祭や文化祭に向けた準備が進んでいるところだと思っています。

さて、今日は、子どもたちの生活とデジタル端末との関係について考えるところをお話します。3年ごとに子どもの学力の変化をみるために国が行う「経年変化分析調査」の令和6年度調査の結果が、7月31日に公表されました。前回の令和3年度調査に比べ、小学校6年生国語・算数、中学校3年生国語・数学・英語の全教科で成績が下がったという結果でした。「学力」については、多角的に分析する必要があると思いますが、ある専門家は、この結果の要因は複

合的だと述べています。文部科学省は、英語についてはコロナ禍の可能性を要因の一つに挙げているものの、調査における保護者への質問によれば、子どもがゲームやスマートフォンを使う時間が前回より増え、学校外の勉強時間が減っているという結果が出ています。つまり、家庭でデジタル端末を使う時間が増大していることが、子どもたちの学習習慣に影響を与えている可能性が高いということだと考えます。

先日、豊明市の「スマホ一日2時間条例」が可決され話題になりましたが、子どもたちの生活がゲームや動画、SNS優先になりがちな現状を危惧する点は、理解することができます。今の子どもたちは、「デジタルネイティブ」と言われ、インターネットやデジタル機器が普及した環境で育ってきています。もはや、あって当たり前、使うのが当然となっており、抵抗なく端末を使いこなす技能や知識には目を見張るものがあります。一方で、端末を利用するとき適切な時間や適切な使い方を考え、自分自身でコントロールする力は十分とは言えません。このことは、大人ですら同じことが言えるのではないかと思います。子どもたちが、ゲームやスマホ等とうまく付き合っていくことを考えるとき、家庭の理解と協力は不可欠です。学校での情報教育のみならず、家庭においても保護者が一緒になってその長所と短所を理解し、どのように自分でコントロールしていくか、適切な使い方はどうあるべきか、などについて考えてもらうよう、家庭への啓発を今後も地道に行っていく必要があると考えています。そして、学校においては、発達の段階、学習内容や目的にあわせて、デジタル端末を活用して学習することと、デジタル端末から離れて学習することの両立を図り、それぞれの長所を生かしていくことが大切ではないかと考えます。また、読書に関する他の調査では、読書量が減少していることや、1か月に1冊も本を読まない不読率が増加していることも指摘されていることから、朝の読書を始めとする読書活動や読書指導を継続的行っていくことも大切だと考えています。

いずれにしても、デジタルとの向き合い方は、今後の学校教育における最大の可能性であるとともに、難しい課題でもあります。常にそのことを意識して、デジタル端末をよりよく活用していくことが重要だと考えています。

以上、子どもたちの生活とデジタル端末との関係について考えるところをお話して、教育長報告に代えたいと思います。

◎教育長

続いて、3. 前回会議録の承認について、前回会議録を順次お返ししますので、お目通しをいただき、署名をお願いいたします。

◎教育長

次に、4. 教育委員会報告について、教育部長お願いします。

●教育部長

定例会事項の1ページをお願いします。先月の定例教育委員会から今日まで、教育委員会に関わる主な行事等について報告させていただきます。

8月21日木曜日と26日火曜日、井之口学校給食センターにおいて、事前に申し込みいただきました保護者やお子様などを対象に、9月からの稼働に向けた試食会を実施いたしました。

8月22日金曜日、兵庫県の報徳学園高校バスケットボール部のキャプテンとしてインターハイに出場しました稲沢西中学校出身の野々部旺樹さんが、結果報告のため市長を表敬訪問されました。

8月25日月曜日、三重県の津田学園高校から夏の甲子園、全国高等学校野球選手権大会に出場しました大里中学校出身の桑山暁太朗さん、明治中学校出身の犬飼悠之介さん、大里東中学校出身の伊藤璃空さんの3名が結果報告のため市長を表敬訪問されました。

8月27日水曜日、総括安全衛生委員会を開催し、教職員の健康状況や健康障害、各学校で開催されました学校安全衛生委員会の報告内容について協議を行いました。

8月28日木曜日、これまでいただきました寄付金を原資として市内3図書館に設置しています「尾西信用金庫視聴覚ライブラリー」の視聴覚資料充実のため、尾西信用金庫様から現金20万円のご寄付をいただき、市長から高間正道理事長に感謝状を贈呈いたしました。

9月23日火曜日、第62回稲沢市民展の第2回運営委員会及び審査会を開催し、作品の出品点数148点から、日本画・洋画・写真・書・工芸美術の各部門で、審査員と運営委員による審査が行われ市長賞はじめ各賞が決まりました。

教育委員会報告は、以上です。

◎教育長

ただいまの教育委員会報告で何かご質問等、お聞きになりたいことがありましたらお願いします。

○伊藤委員

2学期が始まって、約1か月経とうとしています。給食センターが新しくできたということで、運営状況など、何も問題は起きていないと思いますが、いかがですか。

●庶務課主幹

給食が始まって最初の二日間は、調理の関係で配送の時間が 20 分程度遅れるということがありました。それからはだんだん順調になり、配送の遅れは解消されています。ただ、昨日ですが、機器の操作ミスがありまして、給食の一部が提供できないということが発生しました。これからまだしばらく、調理員の慣れが必要になる部分があります。また各学校においても、配膳業務等で慣れが必要になってくるかと思います。順調にいくまではまだしばらく時間がかかるとは思いますが、よろしくお願いいたします。

◎教育長

ほかは、いかがでしょうか。

教育長

では、ないようですので次に移ります。5. 議事に入ります。

「令和 8 年度教育予算に関する要望について」を、学校教育課から説明をお願いします。

●学校教育課長

令和 8 年度教育予算に関する要望書をご覧ください。

9 月 18 日に稲沢市小中学校長会から提出された「令和 8 年度の教育予算に関する要望書」では、「教育課程全体を通じたウェルビーイングの向上」、「主体的、協働的な学び、個別最適な学びなどのきめ細かな教育の実現」、「子どもたちの安心・安全、教職員の意欲向上」の 3 つを最重点要望事項に掲げ、要望事項ごとに、優先順位をつけてまとめられています。多くの要望をいただいておりますので、本日は、アンダーラインが引かれている、優先順位が高い要望事項にしばって説明させていただきます

1 「豊かな人間性と社会をたくましく生き抜く力を育む教育活動の充実」に関する内容については、10 の要望がありました。

①の市費による栄養教諭の配置について、井之口学校給食センターの開設に伴い、栄養教諭の配置数が減少すると、食に関する指導や安全な食の提供に支障が出ることを危惧する声が多くあがりました。市費による栄養教諭の配置を求める要望がありました。

②の部活動の地域展開に伴う条件整備について、拠点校方式の「いな活」のみではなく、本来目指すべき部活動の地域展開に向けて必要な条件整備について、地域の受け皿の充実をはじめ、さらなる条件整備の必要性を求める訴えがありました。

③の小学校セーフティー・プラスワン事業とそれとともなう非常勤講師の継続配置について、児童の心身の状態や人間関係等を把握している教員が対応し

ていることに伴い、非常勤講師が配置されていることの教育的な効果についての声が、学校現場で多くあがっていることから、強い要望がありました。

④の不登校対応職員の配置・充実について、学びの多様化に柔軟に対応するため、校務支援員の時間増や、小学校への配置を強く望む声が多くあがりました。

続いて、2「自ら学びに向かい、広い視野をもち、自己の可能性を伸ばす教育の実現」に関する内容の(1)人的要望について、4点の要望がありました。

①の教材開発やタブレットP Cのメンテナンス可能なI C T支援員の拡充とI C T活用研修の充実について、I C T機器の有効な活用と研修による授業力向上のため、教材開発やタブレットP Cのメンテナンス可能なI C T支援員の拡充、I C T活用研修の充実に向けた強い要望がありました。

次に、(2)「備品・環境整備等に関する要望について、8点の要望がありました。

①のタブレットP Cの更新及び「学びの保障」に向けたオンライン化の推進と環境整備について、タブレットP Cの更新にあたって、そのスペックやオンライン化等について、必要な環境整備を求める声が学校から多くあがりました。子どもたちの学びを保障するため、強い要望がありました。

②の「令和の日本型学校教育」の構築に向けた教育活動の充実に係るタブレットP Cの全教職員分（非常勤・養護教諭・栄養教諭・四役含む）の配備について、教育活動の充実にI C T機器の活用は必要不可欠です。教職員一人一人のI C T活用技能の向上を図るためにも、タブレットP C更新の際には、全教職員一人一台のタブレットP C配付について強い要望がありました。

続いて、3「子どもたちの安心・安全な教育環境の整備と教職員にとって働きがいのある魅力的な環境づくり」については、11点の要望がありました。

①の今後の教育を見据えた校舎新築・改築・修繕に向けた計画の策定と実現については、急速に変化している教育活動のあり方を踏まえて、各校の意見から、バリアフリー化、衛生面・安全面に配慮した校舎・設備等の実現、学習用具を収納するスペースの拡大等、施設の充実に向けて要望がありました。

②の特別教室(図工室・理科室・家庭科室等)と屋内運動場のエアコン設備の早期拡充について、6月初旬より猛暑が続く中、エアコンのない特別教室での授業は、熱中症のリスクが高く、児童生徒にとっても教員にとっても健康状態が心配されます。特別教室や小学校の屋内運動場へのエアコン設置について、強い要望がありました。

③の緊急連絡用携帯電話の配備について、校外での活動において、生徒の緊

急時等に保護者へ連絡するための手段として、また、緊急搬送を要する場合の状況を的確に伝える手段として、緊急連絡用の携帯電話の配備について、強い要望がありました。

④インターホンの設置について、防犯上においても、緊急時においても、インターホンの設置を希望する声が多くあがっています。校内・校外ともに、危機管理における必要性から強い要望がありました。

4の専門委員会及び委託事業、学校配当予算に関する要望についてはそこに書いてある5点の要望がありました。

最後に、日頃より学校現場の諸課題に対してご尽力いただいていることへの感謝と、「子育て教育は稲沢で」という合い言葉のもと、本要望を前向きに考えていただきたいとの言葉があり、要望が終わりました。

以上で、説明を終わらせていただきます。

◎教育長

ただいま事務局から説明がありました要望については、市内小中学校長会の総意として教育委員会に提出されたものです。こういった要望を踏まえつつ、来年度の予算要求をこれからしていくことになります。今日は、委員の皆様方からの予算に関わるところでのご意見をお伺いできればと思っています。

先ほど説明のあった、学校教育に関わること、小中学校長会からの要望の内容でも構いませんし、ほかに生涯学習、スポーツ、図書館、美術館など教育委員会の予算全般についてでも構いませんので、何かご意見、ご要望があればお伺いしたいと思っています。財源が厳しい状況でありますので、すべてを一括してということは難しいところがありますが、一つでも二つでもご意見をいただいたものについて、検討してまいりたいと考えています。

委員の皆様、来年度の教育予算に対してのご意見、ご要望がありましたらお願いします。

○大島委員

意見というよりも、わからないのでお聞きしたいということで、申し上げます。中学生も3年生になると、その先の進学ということが当然目の前に来るわけですが、教育委員会でこれまで進学指導についてお聞きしたことがなかったものですから、最近の特に中学3年生の高校進学を目標とした教育ということが具体的に何かなされているのか、お聞きしたいのですが。受験というものは避けて通れないものですが、公立中学校として、普通の授業以外に、特別に補習授業や模擬試験など高校受験を目標とした教育を何かされているのか、あるいはそれについて何か予算が付けられているのか、あるいはまったく民間の学

習塾にお任せという状態なのか、その辺のところを具体的にお聞きしたいと思います。

●学校教育課指導主事

中学生の進路に関する情報が、ある学校にはあるが、ある学校にはないということがないように、市内の進路指導主事が集まって、会議を行いながら、お互い持っている情報が適切であるかどうかという情報交換は進めさせていただいています。先ほど模擬テストというお話がありましたが、学校ごとに独自で模擬テストを実施しており、実力がどれくらい伴っているかという情報を進路指導に生かしながら、各学校で工夫をしながら、進路指導を進めているという状況です。

○大島委員

そういう模擬試験や特別な授業というものは、稲沢市全体として統一されたものはないのですか。

●学校教育課指導主事

特に統一して何かをしているというわけではありませんが、進路指導委員会のほうで、各学校の情報交換をしながら、それぞれの学校でブラッシュアップをしながら、進路指導を進めているということです。例えば面接でこういうことをやっていくといいですよなど、お互いに持っている情報を示しながら、子どもたちが不利にならないように進めています。

○大島委員

そうしますと、受験に際して、保護者を呼んで、どこの高校がお勧めだとかそういうような具体的な進路指導というのは何かに基づいてされると思うのですが、そういうものの客観的な学習のデータとか、そういうものは共通性のあるようなものはないのですか。

●学校教育課指導主事

客観性のあると言いますか、今までの学習の積み重ねと言いますか、各学校での進路実績というものがございますので、過去これくらいの学習成績を収めた子が、どういう学校へ進んだかとか、例えば模擬テストでこれくらい点数を取れた子がこういう道へ進んでいるなどとか、そういうことを暗に示すことはあると思いますが、堂々と広めることでもありませんので、進路指導を進める中で個人相談を進めながら、それぞれの適性に合った進路選択ができるように進路相談は進めています。

◎教育長

いわゆる、行ける学校よりも行きたい学校を中心に、支援していくというこ

とです。成績によって、この成績だとこのような学校があるよということではなく、そもそも本人がどのような道を選んで、どういう学校に進みたいかということをもっと前提にしながら、進路指導がスタートしていくということになります。

あと、キャリア教育に関してはいかがですか。広い意味での進路指導になると思いますが。

●学校教育課指導主事

教育長のお話にもあったように、中学校だけでなく、小学校からキャリア教育を進めています。ただ、進路という言葉自体は、どうしても中学校卒業後のいわゆる出口と言いますか、進学先というイメージを持っていますので、キャリア教育という名前で中学校も小学校も進めていることが多いかと感じています。中学校1年生からキャリア教育をスタートして、働く意義とは何か、どういう職業があるかということ、例えば保護者の方にアンケートやインタビューをしたり、外部の講師をお招きして実際に働くことについてお話を聞いたりするという機会もございます。中学校2年生では、職場体験活動で1日から3日間、各学校で工夫しながら、地域の企業の方にご協力をいただきながら、学びを進めています。3年生に関しましては、修学旅行の活動の一環として、企業の方にお話を聞くという学校もございますし、あとは2年生の秋口や春口に高校の先生をお招きして、普通科ではこういうことを学びますとか、私立学校ではこういうことができますよとか、具体的な高校での流れというよりも、普通科、機械科、商業科、総合学科など、そういう学科でどういう学びができるかというイメージを持って、3年生の学校体験活動、学校見学というものがスムーズにできるように、中学校1年生から3年生まで計画して進めている状況です。

◎教育長

大島委員、よろしいでしょうか。

○大島委員

はい。

◎教育長

ほかにございますか。

○澤田委員

2点あります。まず、教育長報告にもありましたタブレットです。要望でも一番大きく取り上げられているところですが、子どもたちの話を聞いていますと重いという声をよく聞きます。それから動きが遅いので立ち上げるにも時間

がかかるし、したいことがあってもなかなかスペックがあまり良くないのか、思ったようなことができないという話も聞いています。せっかく使うのであれば、いいものを与えて学びにつなげていけたらいいというのが保護者としての思いにはなるのですが、予算など難しいのは承知していますが、なるべくスペックを上げていっていただきたいのと、あと周りからいろいろな話を聞いて、メリットは何だろうと思って聞いたところ、情報共有が大変しやすい、あと調べものがすぐにできる、プレゼンするときに資料作りができるといったことがとても魅力的だと聞きましたので、そういうところは中学生に向いている学びだと考えると、自分の中では、小学校低学年から与える必要があるのかと、保護者のほうでも姿勢が悪くなる、目が悪くなるまた物事を書く機会が減るので、書くことを嫌がる、めんどくさがるようになるということも聞いているので、タブレットをどう活用していくのかということ、一旦まとめる時期でもあるように思っています。

2点目、給食についてですが、新たにセンターから配達されて、冷めたものが届くのではないかと心配していましたが、やけどするのではないかとというくらい熱々のものが届くと聞き、また味も落ちていないと聞いて安心しています。ただ、やはり内容が寂しくなっているというのも聞いていまして、量や内容が寂しくなっていると聞いて、給食費の問題がありますが、子どもの体を作る時なので、給食の内容も量も考えていただきたいと思います。

●学校教育課統括主幹

一つ目のタブレットにつきまして、校長会の要望としましても、タブレットP Cのスペックが低く、作業に時間がかかったり、フリーズしたりということも聞いておりますので、今回のタブレットP Cの更新に当たっては、子どもたちが学習の際に適切なスペックを搭載した端末の導入をとということで進めています。それから、もう一つ低学年のということで、ご意見をいただきました。それぞれ学校現場の意見を聞きながら、まずは視力が悪くならないとか、子どもたちの健康面を考えながら、それぞれの発達段階に応じて、無理に使わせる必要はないと思いますが、やはり低学年からやらなければいけないこともあると思いますので、子どもたちの現状を見ながら進めていきたいと思っています。

●庶務課主幹

給食が、内容的に少し寂しいという点につきまして、9月の時期はまだ慣れが必要だということで、ある程度絞った内容の献立になっているということ聞いています。あと、量につきまして、作業の状況を見ながら、冷凍の野菜を使ったり、生の野菜を使ったりして、切り替えてということですので、9月

の間はそういうこともあるかもしれません。

◎教育長

慣れるまではということですか。

●庶務課主幹

はい、そうです。

○伊藤委員

私から、2つお願いします。2の②、小学校の非常勤講師（専科教員）の配置ということですが、前にも言ったかと思いますが、国語、算数、外国語に関しては、5年生、6年生になれば、小学校で投げながらも少ししっかりした、今もしっかりしていると思いますが、専門的な教え方ができれば、中学校に入って苦労しないのではないかなというふうに思っています。予算もありますが、考えていただければと思います。それからもう1点、各学校で出前授業的なことをやっていますが、先ほど読書の時間、本を読む時間が減っているという話がありました。私は個人的には、図書館、それから芸術に触れあうためには美術館、こういう市の教育委員会の中で、なかなか時間がないかもしれないですが、その方たちが出向いてもっと子どもたちに、読書なり芸術なり、幅広いアナウンスというか、興味を引くことを少しでもやっていただけると、子どもたちがなんていうか、目新しく感じて見ていただけるんじゃないかと思うので、またそういう時間を取っていただいて、やっていただければと思います。

●学校教育課統括主幹

校長会の要望等でも、委員が言われたように、小学校においても高学年になれば、かなり専門性の必要な授業が増えてきます。専門教員による授業が充実すれば、その授業の楽しさや難しさもより子どもたちがわかり、全教科が教科担任制になれば、より中学校へのスムーズな接続につながっていくのではないかという声も校長会のほうで聞いておりますので、非常勤講師の配置を望むというようにまとめさせていただきました。また、読書についてもご意見として伺っておきますので、タブレットに傾かないように読書も大事だと、教育長の話にあったとおりでと思います。

◎教育長

ご承知かと思いますが、小学校6年生で荻須美術館にすべての子どもたちが出向いて、荻須の作品を鑑賞するというようなことを、学芸員さんたちの力を借りながらやっているということもありますので、お話をしておきたいと思います。

◎教育長

ほかにいかがでしょうか。

○森委員

3の②、特別教室と屋内運動場へのエアコン設置について、8月に子どもたちを引率し扶桑のほうへ大会に行きました。小学校の大会ですが、そちらはまだエアコンが付いていない中で、今年一番暑い日で、40度あったかと思います。最新の注意を払って行ったのですが、小学生で初めての試合でしたので、お昼くらいになってくるとまあまあの暑さになりまして、近年どんどん暑くなっているなというのが現状で、小学校の体育館にどれくらいエアコンが設置されているか、私は存じ上げないのですが、やはり暑い中体育の授業を外ではできない。外では運動は禁止というのがよくありますね。そういう時に体育館を使用した時、体育館も結構な暑さだと思うんです。そういうときのために、なるべく早く屋内運動場、体育館のエアコンの設置を急いでいただけたらと思います。また、放課の時間も外で遊べない、体育館を使用して少しでも運動する、子どもたちの運動不足の中、教室でじっとというわけにもいかないし、学校の廊下を走ってはいけませんということもあるでしょうから、体育館を使用して運動できるようにということを考えて、このエアコン整備を早急にやっていただけたらと思います。

もう1点、教職員の働き甲斐のある職場環境の整備とあります。どの企業も社内環境整備に非常に力を入れている中、学校の先生方の仕事の士気が上がるのであれば、こちらでも早急に整備をしていただけたら、仕事もはかどるのかと。少し疲れた、しんどいぞという時に、保健室で子どもたちと一緒に寝るわけにもいかないでしょうし、やはりそういうところも先生方に気づきが必要かと思しますので、よろしく願いいたします。

●庶務課主幹

一つ目の空調設備につきましては、ここにも書いてありますように、小中学校の特別教室、それから小学校の屋内運動場、エアコンが未整備になっていますので、整備の要望が出ています。同時に整備はできませんので、教育委員会としましては、まずは小学校の屋内運動場を優先して予算の要望をしていきたいと考えています。屋内運動場は子どもたちの活動以外にも、避難所であったり、投票所であったり、地域の活動で使うなど用途が広いので、小学校の屋内運動場の空調整備の予算要求を強くしていきたいと思っています。

教職員の働き甲斐のある職場環境の整備の中で、トイレ、休憩室、更衣室等とありますが、トイレにつきましては現在校舎棟のトイレの洋式化事業で令和5年度から9年度にかけてすべての小中学校のトイレを洋式化する予定をして

います。それに合わせて、先生方の使われるトイレも洋式化、ドライ化する計画をしていますので、令和 9 年度までには先生方の使うトイレもきれいになる計画です。休憩室、更衣室につきましては、現在もありますが、どうしても限られた校舎の中のスペースとなりますので、具体的に休憩室を新たに作るとか、きれいにするというのはなかなか難しいところですので、大規模な改造や建て替え、大里東小学校は建て替えの中で、こういった所もきちんと整備する計画になっていますので、そういった大規模な改造がある時に検討していきたいと思っています。

◎教育長

ほかにいかがでしょうか。

○吉川委員

3 点お願いします。1 点目は、1 の④です。不登校対応職員の配置、昨年の 9 月から配置されていると思いますが、現在どの程度配置されているのか、そこで職員が行っていることは具体的にどんなことを行っているのか。あと、不登校生徒の数にこの配置が影響しているかどうかは 1 点。2 点目ですが、2 の(2)の②、全教職員分のタブレット P C の配置となっていますが、現状はどれくらい配置されているのかということ。あと、次の 3 の⑦、運動場のグリーンサード化の早期整備について、これも現状どの程度整備されているのかということをお聞かせください。

●学校教育課統括主幹

中学校では、昨年度の 2 学期から不登校支援として校務支援員が配置されて、教員と連携しながら、児童生徒へのきめ細かな支援を行っています。時間には限りがありますので、登校できる時間帯にすべての生徒の支援に当たるのは難しいという現状はありますが、配置によって影響はというお話がありました。今 8 月までの不登校の子どもたちの人数を見ていますと、職員が増えたからと言って、そういった児童生徒の数が減っているかということ、そういうわけではありませんが、学校での現状を聞いていますと、それでも学校に来られる回数が増えているとか、そういった場を求めて少しずつでもよい方向に向かっているという良い影響は出ています。

2 点目のタブレットについてですが、今回は全教職員分ということで、校長会から聞いていますが、今現在令和 3 年度にタブレット P C が配置されたときには、非常勤の先生にはありませんし、養護教諭、栄養教諭、四役の先生もありませんでした。例えば今オンラインで職員会議をやる時は、四役はノートパソコンを開き、ほかの先生はタブレット P C でやるという形でやっています。

今は子どもたち中心で学校はやっていますので、そういった形で、次回全教職員分が配置されて、子供たちの学びがより充実すれば良いなという要望が出ています。

●庶務課主幹

グリーンサンドの件につきましては、細かい数字は今資料がありませんのでわかりませんが、確か小学校で7校、中学校では千代田中学校と大里中学校を除く7校がグリーンサンド化が済んでいたと記憶しています。市の治水課という課で、グラウンドに水を貯める表面貯留という工事を順にやっています。日光川の福田川流域の学校を順にやっています。治水課の表面貯留工事に合わせてグラウンドのグリーンサンド化もやってもらうように今市の中で調整しているところです。その事業のスケールで行きますと、今年度小正小学校でこれから工事が始まります。来年度は大里中学校、再来年度は大里東小学校で事業の計画があると聞いておりますので、そういうところは順番にグリーンサンド化されてきますが、それ以外の学校につきましては、今財政的に非常に厳しい状況ですので、具体的に教育委員会の中での計画はありません。

○吉川委員

まず不登校の対応職員というか、いろいろとそれぞれの職場で頑張ってみえると思います。やはり一番大事なのは、子どもの居場所づくり、子どもが少しずつでも足が動いて学校へいけたらいいと、その居場所づくりを確保してあげるといことで、そのような対応を職員にお願いしたいということのを思いました。それから、グリーンサンド化という、予算の関係もあって大変難しいといことで、今3校ほど計画に挙がっているのですが、私の要望として、学校以外、例えば祖父江の森のグラウンドのグリーンサンド化、他の市町を見ますと、尾西の運動広場ですか、あそこはオール芝生になっています。それから一宮市のテニスコート4面、一宮商業高校の南側ですね、あそこもグリーンサンドになっています。そういうような所も同時に整備していただくと、祖父江の森のグラウンドも大会などでよく使われていますし、一般の方も使ってみえます。それから我々がやっているまちづくりの大きなイベント、祖父江夏まつり、毎年前日、また早朝に雨が降るとできないといことで、せっかく用意したものがだめになるという不満の声、そういう声が聞こえてきていますので、一つ要望しておきたいと思います。

●教育部長

ご要望ありがとうございます。グリーンサンド化はなかなか厳しいところがあります。まずは小中学校でやりたいと思っていますが、先ほど庶務課が説明

しましたとおり、一度グラウンドに水を貯める表面貯留という工事に合わせてしか今のところできないということがございます。学校においてもグラウンドは整備したがテニスコートなどは整備していない所があり、そういった所も要望をいただいていますので、順番にとは思っていますが、なかなか厳しいところもあります。ご意見はご意見として伺って、機会をとらえて要望していきたいと思います。

○吉川委員

今、教育委員としての要望を出させていただきましたが、一般の市民からの要望として出てくる可能性もありますので、その点も踏まえておいていただけたらと思います。

もう1点別の質問ですが、2の(2)の④、学校図書館と市図書館との一元化及び本のバーコード管理化ということについて、具体的にどういうことか教えてください。

●学校教育課統括主幹

校長会でまとめた意見ですが、本をバーコード管理することにより、児童生徒の読書量やそれぞれの学校にある本の種類、またデータ管理が可能となって、充実した読書活動を推進することができるということ。また市の図書館と蔵書共有ができれば、各教科や総合的な学習の時間の学びに必要な図書を用意できるというようなことを校長会から聞いています。

○吉川委員

私も現場にいたとき、毎年新しい図書を受け入れる際に、いろいろな作業、手作業、これは職員だけではなかなか難しいということで、PTAやボランティアの方にお手伝い願ってやってきて、またそれによる貸し出し作業も非常に大変だったということで、このバーコードによる管理というのは非常に効率的で効果があると思いますので、ぜひ早期に実現していただけたらと思っています。

それから、最後に学校現場で毎日先生方が子どもたちと一緒に生活していく中で、困っていることがここに出ていると思います。いわば現実的な問題がここに挙がってきていると思いますので、要望としてできる限り予算を認めてあげていただけたらと思っていますので、どうかよろしくお願いします。

◎教育長

ほかにございますか。

○伊藤委員

もう1点お願いします。これとは直接関係ないのですが、このところニュ

ースを見ていると毎日教職員の問題が出ています。私がよく行く小学校の校長先生は、写真が好きで結構カメラを持って動いてみえます。今後、運動会、体育祭、文化祭、遠足等いろいろな行事の中で、僕らが学校訪問に伺っても子どもたちの笑顔の写真を見て、いい学校だなとか、こういうことを学校でやっているということを、私たちも見せてもらっていますし、保護者の方も学校へ行かれた時に、ああうちの子だとかやってみえると思いますけれども、そんな中で校長会なり教育委員会のほうから、写真というものが今ちょっと難しい問題になりつつあるので、それに対してのご意見や今後どうしていこうというご意見はあったのか、ということをお伺いしたいと思います。

●学校教育課統括主幹

校長先生方からのご意見としましては、例えば個人のカメラを学校のカメラとして認めてほしいという意見は出ました。7月の段階で学校で写真を撮るときは個人のスマホは禁止、学校にあるカメラを使って写真を撮ってください。それから写真を撮ったものについては、管理職に確認をしてもらった後に、学校の共通ファイルサーバーに保存する。個人で持ち帰ったりしない。もし持ち帰る必要がある時は、管理職の了解を得てから持ち帰るという話をしました。その中で出たものとして、学校規模によっては今学校にあるデジタルカメラの画素数が少し粗いということで、それを認めてほしいということがありましたが、今後備品要望等で早急に学校のほうで設置していただいて、保護者のほうにも今回スマートフォンでは写真は撮れませんとか、学校カメラを使用してということを事前に伝えていきますので、その辺りは誤解のないように学校で徹底してくださいと伝えました。

○伊藤委員

よろしくお願いします。

◎教育長

ほかにいかがでしょうか。

◎教育長

委員の皆様、様々な観点からご意見ありがとうございました。学校がうまくいくようにということで、背中を押していただけるような、そんなご意見ばかりでした。本当にありがとうございました。

冒頭に申し上げましたが、ここにあるものすべて予算要望としてやっていけると一番いいのですが、限られた財源の中でもありますので、今日いただいたご意見も踏まえつつ、事務局のほうで作業をしてまいりたいと思っています。

◎教育長

続きまして、6. 報告事項に移ります。「稲沢市教育委員会後援名義使用承認について」を庶務課から説明をお願いします。

●庶務課長

定例会事項の2ページをお願いします。8ページにかけまして「稲沢市教育委員会後援名義使用承認一覧表」を掲載しております。ここに記載のとおり、26件の後援名義使用承認申請につきまして、事務取扱要領に基づき、承認させていただきましたことをご報告いたします。

以上です。

◎教育長

続きまして、「稲沢市少年愛護センター指導員の解嘱及び委嘱について」を生涯学習課から説明をお願いします。

●生涯学習課長

定例会事項の9ページをお願いします。

稲沢市少年愛護センター指導員の解嘱及び委嘱についてです。

こちらの名簿に記載の下津班の方1名を8月31日付で、本人の申し出により解嘱し、その後任の方を9月1日付で委嘱しましたので報告します。なお、「稲沢市少年愛護センターの設置及び運営に関する規則」第4条第3項により、後任の方の委嘱期間は、令和9年3月31日までです。

以上です。

◎教育長

ただいま2点報告がございました。委員の皆様、ご質問等お聞きになりたいことございましたらお願いします。

◎教育長

ないようですので、次に進みます。7. その他について事務局から何かありますか。

●生涯学習課長

生涯学習課から3点、お願いいたします。

1点目は、令和8年「稲沢市二十歳のつどい」についてです。お手元の資料をご覧ください。令和8年「稲沢市二十歳のつどい」を1月11日、日曜日の午前10時から、名古屋文理大学文化フォーラム・稲沢市民会館の大ホールにて開催いたします。12月1日現在で、稲沢市に住民登録がある方を対象に、12月上旬に案内状を発送いたします。また、教育委員の皆様をはじめ、ご来賓の皆様には、12月中旬にご案内を申し上げます。お忙しいところ恐縮に存じますが、ご臨席賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2点目は、市民会館のクラウドファンディングの実施についてです。名古屋文理大学文化フォーラム・稲沢市民会館小ホールは、コンパクトな空間ながら、本格的な音響設備を備えており、今年度、その更新を行う予定です。そのための費用の支援を募ることとしました。90日間は、ふるさと納税ポータルサイトから、また生涯学習課、シティプロモーション課の窓口でも受け付けをいたします。目標金額は100万円とし、いただきました寄付金は3月補正にて予算計上させていただきます。

3点目は、祖父江生涯学習センターの自習室の開設についてです。令和7年度の新規事業として、用途が未定である事務室の空きスペースを活用して、自習室を設置する工事を現在、行っています。契約上の施工期間は10月25日までとなっておりますが、施工業者から、工事は9月末に完了見込との報告を受けました。そのため、当初の予定より早く、10月中旬には利用が開始できそうです。自習室の定員は16人で、料金に関しては図書館に準じて無償とします。また、開所日は生涯学習センターの開館日と同一とし、利用時間については、閉館の15分前までとさせていただきます。

以上です。

●美術館長

美術館から、3点ご案内等いたします。

1点目、特別展についてです。先月にもご案内いたしましたが、招待状、チラシ等ができましたので、改めてご案内いたします。美術館では、「令和7年度特別展 荻須高德リトグラフ展－稲沢市荻須記念美術館コレクション－」を10月24日金曜日から12月7日日曜日まで開催いたします。会期半ばで展示替えをいたします。

10月23日木曜日午後1時半から開催いたします開会式及び内覧会につきまして、ご多忙のところ恐縮ですが、ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。なお、開会式にご出席いただけない場合は、会期中に、こちらの白色の封筒をご提示いただきますと2名様まで入場いただけますので、ぜひご高覧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2点目、第62回稲沢市民展についてご案内申し上げます。現在、展覧会準備作業中ですので、お手元の募集要項をお願いいたします。美術館では、芸術文化活動の振興を目的として、毎年市民の方々から作品を出品していただき、稲沢市民展を開催しております。今年度は9月20、21日を作品搬入日、また23日を審査日として展覧会に向けて、準備を進めています。第1部の日本画・洋画・写真部門は9月30日火曜日から10月5日日曜日まで、第2部の書・工芸美術部

門は10月6日火曜日から13日月曜日・祝日までです。ぜひご高覧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

3点目は、10月から開始させていただく、美術館のクラウドファンディングについて説明します。博物館法により規定されている美術館、博物館の使命は、美術に関する資料の収集・保管、調査研究、展示、教育普及活動などを通して、国民の教育、学術、文化の発展に寄与することです。当館は、荻須高德画伯の顕彰館ですので、荻須画伯の油彩画を主に収集するために、美術品等購入基金を積み立てて、美術館に収蔵することがふさわしい荻須作品について、周年事業の折や、元の所有者の方が作品を手放す等の機会があるときに、購入させていただいておりました。しかしながら、近年の厳しい財政状況により、基金を積み立てることが困難になっております。そのため、絵画購入のための支援を募ることとしました。方法として、10月2日から12月30日までは、ふるさと納税ポータルサイトから、また、10月2日から12月23日までは美術館、シティプロモーション課の窓口でも休日を除き、受け付けいたします。目標金額は750万円とし、いただきました寄付金は3月補正にて予算計上させていただきます。

美術館からは以上です。

◎教育長

ただいま、生涯学習課、美術館からその他ということで説明がありましたが、ご質問等がありましたらお願いします。

◎教育長

よろしいでしょうか。

◎教育長

ないようですので、次回開催予定日時について、教育部長お願いします。

(教育部長から説明)

◎教育長

次回開催予定日時でございました。

◎教育長

以上をもちまして、本日の予定は終了でございますが、吉川繁樹委員に置かれましては、本日の定例会が最後の教育委員会会議への出席となります。長きにわたりいろいろとお世話になりました。本当にありがとうございました。

ご退任に当たって、一言ご挨拶をいただければと思います。

(吉川委員あいさつ)

◎教育長

ありがとうございました。

以上をもちまして、第9回教育委員会定例会を終わります。お疲れ様でございました。

次回開催予定日

令和 7 年 1 0 月 2 8 日（火） 午後 1 時 30 分
市役所議員総会室

－ 閉 会 －

令和 7 年 1 0 月 2 8 日

教 育 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

書 記